

1. 授業時間

【水戸地区・日立地区（昼間コース）・阿見地区】

講 時	開始時刻 ～ 終了時刻
第 1 講 時	8:40 ～ 10:10
第 2 講 時	10:20 ～ 11:50
（ 昼 休 み / 11:50 ～ 12:40 ）	
第 3 講 時	12:40 ～ 14:10
第 4 講 時	14:20 ～ 15:50
第 5 講 時	16:00 ～ 17:30

【日立地区（フレックスコース）】

講 時	開始時刻 ～ 終了時刻
第 6 講 時	17:35 ～ 19:05
第 7 講 時	19:10 ～ 20:40

2. 授業科目の履修について

授業科目を履修する場合は、「基盤教育科目履修申告票／全学共通科目履修申告票」に必要事項を記入し、当該授業の始めに担当教員へ提出し、受講の承認を得てください。上記申告票提出後、定められた期間内に教務情報ポータルシステムで履修登録してください。どちらか一方が行われていない場合や両者が一致していない場合は、正式な履修とは認められません。

3. 注意事項

開講授業科目一覧には、共通教育科目の今年度開講される授業科目（授業題目）が掲載されており、さらに履修の申告や登録に必要な情報（シラバスコード等）も記載されています。開講授業科目一覧で開講時期（前学期・後学期・クォーター）、曜日・講時、指定学部クラス等を確認し、シラバス（Web）で授業内容を確認の上、授業を選択してください。

1. 入学年度（年次）により**授業科目名**が異なることがあります。履修登録の際には気をつけてください。
2. 同一教員が同じ授業題目で、別の学期・クォーターや異なる時間帯に授業を開講していることがあります。自分の所属する学部が履修対象になっているか指定学部クラス等に注意してください。
3. **所属**の欄は、その授業科目の担当教員の所属学部等名が下記のとおり略して示されています。

・人文→人文社会科学部	・教育→教育学部	・理→理学部	・工→工学部	・農→農学部
・機構→全学教育機構	・保セ→保健管理センター	・IT→IT基盤センター		
・広セ→広域水圏環境科学教育研究センター	・宇セ→宇宙科学教育研究センター			
・社セ→社会連携センター	・ICAS→地球変動適応科学研究機関	・遺→遺伝子実験施設		
・非→非常勤講師	・他→上記以外の所属学部等又は複数の所属学部等が合同する場合			

4. 学期クォーターの欄には、開講学期・クォーターが記載されています。略称等は下記のとおりです。

・通年 →通年開講科目	・前期 →前学期開講科目	・後期 →後学期開講科目
・1Q →第1クォーター開講科目	・2Q →第2クォーター開講科目	・3Q →第3クォーター開講科目
・4Q →第4クォーター開講科目	・各Q →年間を通して各クォーターで開講される科目	

5. 指定学部クラス等の欄には、当該授業の履修対象学部・学科等が示されています。原則としてここに指定されている所属学部・学科等の学生以外は履修できません。略称等は下記のとおりです。

1. L ⇒人文社会科学部、P ⇒教育学部、S ⇒理学部、T ⇒工学部、A ⇒農学部
2. 1年⇒1～3年次、2年⇒2、3年次、3年⇒3年次
以下、主だった例をあげます。
① 1年TA ⇒ 1～3年次の工学部と農学部の学生
② 1年全学共通 ⇒ 1～3年次の全学部の学生
③ 2年LPS ⇒ 2、3年次の人文社会科学部と教育学部と理学部の学生
④ 2年全学共通 ⇒ 2、3年次の全学部の学生
⑤ 3年PS ⇒ 3年次の教育学部と理学部の学生
⑥ 3年全学共通 ⇒ 3年次の全学部の学生
⑦ 1年T(フレ) ⇒ 1、2年次の工学部フレックスコースと3年次の工学部Bコースの学生
⑧ 3年T(B) ⇒ 3年次の工学部Bコース学生
⑨ 1年T(機械) ⇒ 1、2年次の工学部機械システム工学科の学生と3年次の工学部機械工学科及び知能システム工学科の学生
⑩ 1年T(電気) ⇒ 1、2年次の工学部電気電子システム工学科の学生と3年次の電気電子工学科及びメディア通信工学科の学生
⑪ 1年T(物質) ⇒ 1、2年次の工学部物質科学工学科の学生と3年次の生体分子機能工学科及びマテリアル工学科の学生

6. 教室の欄には、授業を行う教室名（下記略号）又は開講地区（水戸地区／日立地区／阿見地区）が記されています。

【水戸地区】
・共通○○ 共通教育棟2号館教室
・○○講義室 共通教育棟1号館2階又は3階教室
・人文○○ 人文社会科学部棟教室・演習室
・教育○○○○ 教育学部棟教室（A～D棟）
・理○○ 理学部棟教室・セミナー室
・MM1/2 IT基盤センター（理学部S棟） マルチメディア第1教室／第2教室
・理学部英語学習室 理学部B棟1階英語学習室
【日立地区】
・工学部○○ 日立キャンパスの教室等
【阿見地区】
・農学部○○ 阿見キャンパスの教室等

7. ナンバリングコードは、体系的な教育課程の編成のため、教育課程における当該授業の位置づけ等を示すもので、次の項目についてアルファベットや数字で表示します。ナンバリングコードは、シラバスにも記載されています。

各コードについて、授業科目「茨城学」を例に説明します。授業選択の際の参考にしてください。

(例) 「茨城学」のナンバリングコード

ナンバリングコード	KB - IBS - 1 3 1 - COE,COP
説明 No.	① - ② - ③④⑤ - ⑥

各コードの説明

No.	コード名	説明
①	部局コード	<p>当該授業を実施する部局を示すコードです。基盤教育科目にはすべて「KB」（全学教育機構）が付されています。</p> <p>学部専門科目には、それぞれ、「L」（人文社会科学部）、「P」（教育学部）、「S」（理学部）、「T」（工学部）、「A」（農学部）が付されています。</p> <p>全学共通プログラム科目にはすべて「KZ」（全学共通科目）が付されています。</p> <p>「茨城学」の部局コードは「KB」なので、この授業は「全学教育機構」が実施する授業であることがわかります。「KB」、「KZ」が付された授業に関する質問は、共通教育センターにお問い合わせください。</p>
②	学問分野コード	<p>当該授業の学問分野（科目区分）を示すコードです。学問分野コードの一覧は巻末（付録）を参照してください。興味のある学問分野があれば、教務情報ポータルシステムでキーワード検索してみるとよいでしょう。</p> <p>「茨城学」の学問分野コードは「IBS」（Ibaraki Studies）です。</p>
③	難易度コード	<p>各学問分野における当該授業の難易度を示すコードです。1～4の数字によって難易度を示します。</p> <p>1=初歩、2=基礎、3=発展、4=応用</p> <p>「茨城学」の難易度コードは「1」なので、この授業の難易度は「初歩」であることがわかります。</p>
④	授業方法コード	<p>当該授業の実施方法を示すコードです。1～3の数字によって、授業の実施方法を示します。</p> <p>「2」又は「3」が付いている授業はアクティブ・ラーニング科目です。</p> <p>1=下記以外の講義 2=実験・実習・実技 3=実験・実習・実技以外のアクティブ・ラーニングを取り入れた授業</p> <p>「茨城学」の授業方法コードは「3」なので、この授業は「アクティブ・ラーニングを取り入れた授業」であることがわかります。「アクティブ・ラーニング」の具体的な内容は、各授業のシラバスを参照してください。</p>
⑤	使用言語コード	<p>当該授業の授業担当教員が授業を進める上で通常使用する言語を示すコードです。1～5の数字によって、授業中に通常使用する言語を示します。</p> <p>1=日本語 2=英語のみ 3=日本語と英語の併用 4=英語以外の外国語のみ 5=その他（例えば、ドイツ語と日本語の併用など）</p> <p>「茨城学」の使用言語コードは「1」なので、この授業は「日本語」で進行されることがわかります。</p>
⑥	教育プログラムコード	<p>当該授業を構成科目とする教育プログラムを示すコードです。教育プログラムコードの一覧は巻末（付録）を参照してください。「茨城学」の教育プログラムコードは「COE,COP」なので、この授業は「地域志向教育プログラム」及び「地域協創人材教育プログラム」の構成科目であることがわかります。</p>

※平成30年度まで、地域志向教育プログラムの教育プログラムコードは「COC」でしたが、平成31年度以降、「COE」に変更となりました。

8. その他履修上の注意

- 1) 基盤教育科目において、一度単位を修得した同じ教員による同じ題目の授業を再度履修しても、単位は認められません。ただし、同じ教員による同じ授業科目であっても、授業題目が異なれば別の授業として単位が認められます。
- 2) 全学共通科目において、一度単位を修得した同じ授業科目を再度履修しても、単位は認められません。
- 3) リベラルアーツ科目において開講される集中講義で修得した単位は、自由履修の単位に算入されます。
ただし、「ライフデザイン」、教育学部生を対象とした「日本国憲法」の集中講義は除きます。自由履修の単位に算入されたものは、各科目区分の卒業に必要な単位には算入されないので注意してください。
- 4) 病気その他の理由により授業の履修が困難な場合は、履修方法等について共通教育センターにご相談ください。
- 5) 授業の出席数が、その授業科目の総授業時間数の3分の2（「心と体の健康」のうち「身体活動」については4分の3）に達しない場合は、単位を与えないので注意してください。

4. 基盤教育科目クラス分け・ガイダンスについて

○プラクティカル・イングリッシュ

以下の日程に、教務情報ポータルシステムでクラス分けの発表を行います。

1年次生向け「Integrated English」 4月9日（火）

2年次生向け「Advanced English」 4月3日（水）

3年次生向け「Advanced English」 4月3日（水）

1) クラス分け発表後、初回授業に出席し、「基盤教育科目／全学共通科目履修申告票」を担当教員に提出してください。なお、クラス分けの結果は教務情報ポータルシステムに自動で登録されますので、学生自身が履修登録する必要はありません。

2) 後学期に履修するクラスは、原則前学期と同一教員のクラスを履修することになりますが、担当教員が異なる場合は、教務情報ポータルシステム及び掲示で後学期開始前に後学期に履修するクラスをお知らせしますので、掲示等に注意してください。なお、後学期のクラスについても、前学期同様に教務情報ポータルシステムに自動で登録されます。

3) 水戸地区開講のAdvanced English IIICは、対象となる学生（再履修者含む）に対し、希望調査を実施し、クラス分けを行います（日立地区、阿見地区開講科目の希望調査は実施しません）。希望調査の実施時期等詳細については、1月下旬に教務情報ポータルシステムでお知らせします。

4) 再履修者向けには、レベルごとに集中講義で再履修用の授業が開講されます（p.17参照）。プラクティカル・イングリッシュの再履修は、集中講義あるいは翌年度の授業の再履修になりますが、1年次前学期開講のIntegrated English Aのみ集中講義の他に後学期に再履修のクラスが開講されます（p.18参照）。再履修が必要な学生は、再履修用のクラスを確認し、該当するレベルの初回授業に出席してください。異なるレベルの授業を履修することは認められません。なお、再履修クラスの履修登録は自動ではされませんので、自身で履修登録してください。

5) 集中講義の再履修は、前学期は7月下旬、後学期は1月下旬に日程を掲示でお知らせする予定です。当該学期の成績を確認し、単位を修得できなかった場合、再履修が必要となりますので、修得できなかったレベルの集中講義を履修してください。異なるレベルの授業を履修することは認められません。

6) 翌年度の再履修クラスを履修する場合、平成30年度に単位が認定されなかった科目を履修することになりますが、水戸地区では、平成31年度は以下の教員が担当する授業（該当のレベル）を履修してください。日立地区、阿見地区開講の授業については、クラスの指定はありませんので、開講されている授業の中から、自身で選択してください。異なるレベルの授業を履修することは認められません。

平成31年度再履修対象者用クラス

科目	担当教員
Integrated English IA、IB	福田 浩子
Integrated English IIA、IIB	佐々木 友美
Integrated English IIIA、IIIB	大森 真
Advanced English IA、IB	小林 邦彦
Advanced English IIA、IIB	上田 敦子
Advanced English IIIA、IIIB	館 深雪
Advanced English IIIC	指定なし。任意のクラスを自身で選択

時間割、教室等授業の詳細は、開講授業科目一覧（p.11～）を参照してください。

○心と体の健康

平成31年度は、以下の日程で実施します。後学期開講科目も含めてこのガイダンスで履修する科目を決定します。1年次及び2年次以上で「心と体の健康」（身体活動および健康の科学）の履修を希望する学生は、各地区で指定された日時に開催のガイダンスに必ず出席してください。

- 1) ガイダンスは、前学期・後学期を問わず初回授業となりますので、必ず出席してください。
- 2) ガイダンス出席にあたっては、「基盤教育科目／全学共通科目履修申告票」、学生証、筆記具、上履きを必ず持参してください。阿見地区は教室で行いますので、上履きは不要です。
- 3) 「心と体の健康」は、ガイダンスで決定した科目が教務情報ポータルシステムに自動で登録されますので、学生自身が履修登録する必要はありません。

1年次対象ガイダンス日程

【水戸地区】

場所：大体育館

- 4月10日（水） 8：40～ 理学部、農学部
10：20～ 人文社会科学部
- 4月12日（金） 8：40～ 工学部（物質科学、情報、都市）
10：20～ 工学部（機械システム（フレックスコース除く）、電気電子システム）
- 4月15日（月） 12：40～ 教育学部

2年次対象ガイダンス日程

【水戸地区】

場所：大体育館

- 4月12日（金） 12：40～ 教育学部（Ⅱ）、理学部
- 4月15日（月） 10：20～ 人文社会科学部
14：20～ 教育学部（Ⅰ）

※教育学部（Ⅰ）：学校教育教員養成課程（理数教育系・保健体育教育系）以外の2年次生

※教育学部（Ⅱ）：学校教育教員養成課程（理数教育系・保健体育教育系）の2年次生

【日立地区】

場所：体育館

- 4月11日（木） 16：00～ 工学部（フレックスコースを除く全学科）

【阿見地区】

場所：100番教室

- 4月11日（木） 14：20～ 農学部

※再履修者で「心と体の健康」を履修する場合は、以下の点に注意してください。

- ・2年次が1年次の授業を再履修する場合は、所属学部学科対象の1年次向けガイダンスに出席してください。
- ・3年次が再履修する場合は、対象にかかわらず、1年次向け、2年次向け、いずれかのガイダンスに出席してください（所属・学年等の指定はありません）。

○科学の基礎

科学の基礎のうち、「科学と倫理」はクラス指定されているものがあります。工学部対象の「科学と倫理B」、農学部対象の「科学と倫理A」は、開講授業科目一覧で指定されている学科を参照し履修してください。理学部対象の「科学と倫理A」はクラス指定がありませんので、いずれかのクォーターで履修してください。ただし、各クォーターにおいて定員を超えた場合は、抽選を行います。その場合、地球環境科学コース地球科学技術者養成プログラム（JABEEプログラム）を履修する学生の履修が優先されます。

○リベラルアーツ科目

水戸地区開講のリベラルアーツ科目については、初回授業時における混乱、またそれに伴う授業開始の遅延を避けるため、受講希望の授業を教務情報ポータルシステムから事前に申告してもらい、学期開始前に抽選を行い、履修者を予め決定します。実施期間等は、以下の日程を予定しておりますが、正式な実施日程や実施方法の詳細については、教務情報ポータルシステムでお知らせします。

【事前申告の実施方法】

教務情報ポータルシステムで実施します。

【水戸地区開講科目】

前学期開講科目（2年次以上対象）

3月上旬（期間は1週間）実施、3月下旬結果発表

詳細については、1月下旬に教務情報ポータルシステムでお知らせします。なお、上記の期間は翌年度前学期開講科目の事前申告の予定になります。

対象科目：異文化コミュニケーション、ヒューマニティーズ、パフォーマンス&アート、自然・環境と人間、グローバル化と人間社会

後学期開講科目（1年次以上対象）

第1次申告：8月上旬（期間は1週間）実施、8月下旬結果発表

第2次申告：9月上旬（期間は1週間）実施、9月下旬結果発表

詳細については、7月下旬に教務情報ポータルシステムでお知らせします。

・対象科目：初修外国語（Ⅱ・入門）、異文化コミュニケーション、ヒューマニティーズ、パフォーマンス&アート、自然・環境と人間、グローバル化と人間社会

1) 上記の実施期間は予定です。変更になる可能性もあるので、教務情報ポータルシステムでのおしらせに注意してください。

2) 事前申告で受講可となった科目は、教務情報ポータルシステムに自動で登録されますので、学生自身で履修登録する必要はありません。

3) 事前申告を実施するのは、水戸地区開講の基盤教育科目のうちリベラルアーツ科目のみです。日立地区、阿見地区開講の基盤教育科目について、事前申告の実施はありません。

5. 「平成30年度基盤教育科目履修案内・全学共通プログラム履修案内」の修正について（平成30年度入学者対象）

平成30年度入学者対象の「基盤教育科目履修案内・全学共通プログラム履修案内」において、以下の修正がありました。なお、この修正は平成30年度入学者の履修案内の修正です。平成29年度入学者には適用されません。

1. COC地域志向教育プログラムの地域志向教育プログラム科目の修正（履修案内p.131）

2) 全学共通科目・専門科目

1年次～4年次に科目が配置されています。

全学共通科目である「5学部混合地域PBL科目」および「地域協創PBL」あるいは学部の専門科目である「地域PBL科目」から2単位以上（2単位選択必修）を履修します。PBLには、問題解決を主目的として、学生の皆さんが主体となり実践するグループ学習（Problem-Based Learning）と、各チームが具体的な学修課題をたてて、プロジェクトを遂行しながら行う学習（Project-Based Learning）があり、本プログラムではいずれも地域課題等をテーマに行います。そして、これらに学部横断で取り組むのが「5学部混合地域PBL科目」で、さらにCOCプラス参加校も加えて取り組むのが「地域協創PBL」です。また、~~あり~~学部の専門性をより用いて取り組むのが学部の「地域PBL科目」です。シラバスをよく読んで履修してください。

また、学部の専門科目である「地域志向科目」から2単位以上を履修できます。

地域志向教育プログラムの科目区分

科目の区分	科目名・授業題目名	必修・選択必修・選択	履修年次 **	備考
全学教育 機構	基盤教育科目 「茨城学」*	2単位必修	1年次	
	地域志向科目	選択	1～4年次	修了要件に算入できるのは4単位まで
	全学共通科目 5学部混合地域PBL科目 「 <u>地域協創PBL</u> 」	2単位選択必修	1～4年次	「自由履修」の科目
学部 専門科目 地域PBL科目	2～4年次		工学部は3年次から開始	
	地域志向科目	選択	2～4年次	
修了要件単位数		合計8単位以上		

* 「茨城学」はプログラム参加の有無にかかわらず、すべての学部学生が卒業に単位修得が必要な必修科目です。

** 修了証の履修要件に算入できるのは4年次の前学期（夏季集中講義を含む）までです。

地域志向教育プログラムのカリキュラムマップ

(Q: クォーター)

年次	学期	1Q	2Q	3Q	4Q
1年次	前学期	茨城学			5学部混合地域PBL
	後学期				
2年次	前学期				
	後学期				
3年次	前学期				
	後学期				
4年次	前学期				
	後学期				

注: 「茨城学」以外の基盤教育科目の地域志向科目、学部の地域志向科目、地域協創PBL、学部の地域PBL*

* 工学部の地域PBLは3年次から開始。

** 3年次前学期（夏季集中講義を含む）までに修了要件の8単位以上を修得している3年次生には、「修了見込証明書」を発行することができます。

*** 「修了証」の履修要件に算入できるのは4年次の前学期（同上）までの成績です。

2. 地域協創人材教育プログラムの認定科目の修正（履修案内p.132～133）

p.132の修正

「地域協創 造人材」認定のための対象科目

科目の区分	科目	必修	履修年次 (Q:クォーター)	備考
基盤教育科目	ライフデザイン	1単位	3年次 1Q 又は 2Q	
	<u>公共社会</u> <u>(インターンシップ実習)</u>	1単位以上	<u>1年次全学部</u>	
専門科目	インターンシップ科目		学部が定める履修年次による	茨城県内の企業等が対象
認定要件：COC 地域志向教育プログラム 8 単位に上記 2 単位を加えた 10 単位以上				

p.133の修正

(3) 「地域協創人材」認定のための履修科目について

3) インターンシップ科目

各学部が開講するインターンシップ科目 や「公共社会」において認定される「インターンシップ実習」のどちらかを1 単位以上を履修してください。「インターンシップ科目」の履修年次は各学部の履修要項等を参考にしてください。

地域協創人材教育プログラムのカリキュラムマップ

年次	履修年次 (Q)	認定対象科目	履修科目	備考	
1年次	1Q、2Q	COC 地域志向教育プログラムの対象科目 (1~4年次)	(就業支援科目) 推奨科目「仕事を考える」(1年TA)	公共社会 「インターンシップ実習」 (1年次~)	
	3Q、4Q				
2年次	1Q、2Q				推奨科目「仕事を考える」(2年LPS)
	3Q、4Q				
3年次	1Q、2Q		ライフデザイン		
	3Q、4Q		インターンシップ科目 (学部が定める履修年次)		
4年次	1Q、2Q				
	3Q、4Q				

※太字、下線が追記箇所

※取り消し線は削除箇所